



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月10日

上場会社名 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ 上場取引所 東  
 コード番号 6324 URL <http://www.hds.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 啓  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 丸山 顕 (TEL) 03-5471-7810  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	29,581	△43.4	754	△94.7	1,052	△92.8	△536	—
2019年3月期第3四半期	52,274	31.9	14,185	49.3	14,565	57.6	9,167	53.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △1,543百万円( —%) 2019年3月期第3四半期 4,828百万円( △65.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△5.58	—
2019年3月期第3四半期	95.24	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	131,131	104,895	76.1
2019年3月期	137,995	108,400	75.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 99,845百万円 2019年3月期 104,186百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,700	△45.9	△1,500	—	△1,300	—	△1,500	—	△15.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	96,315,400株	2019年3月期	96,315,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	52,225株	2019年3月期	52,225株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	96,263,175株	2019年3月期3Q	96,263,207株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10
(2) 海外売上高	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)における当社グループの業績は、秋口以降、日本を含むアジア市場を中心に受注環境に底打ち感が見られたものの、依然として米中貿易摩擦の長期化による先行きの不透明感が高く、世界的に製造業の設備投資に対する慎重な姿勢が続いたことから、好調であった前年同期に比較して厳しい結果となりました。

用途別の売上高につきましては、前年同期比で、自動車やスマートフォン、家電などの生産自動化に使用される産業用ロボット向けが減少したことに加え、半導体製造装置向け、フラットパネルディスプレイ製造装置向け、モーターメーカー向けギアヘッドなど主要用途全般が減少しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比43.4%減少の295億81百万円となりました。

損益面につきましては、このような厳しい事業環境に対応するため、設備投資の一部凍結による新たな減価償却費の抑制や、徹底した経費管理によるコスト削減に取り組んでまいりましたが、売上高の減少による影響を吸収するには至らず、営業利益は前年同期比94.7%減少の7億54百万円となりました。また、主に営業利益の減益に加え、繰延税金資産の減少による法人税等調整額の影響により、5億36百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益91億67百万円)を計上しました。

なお、製品群別の売上高は、減速装置が前年同期比49.4%減少の223億5百万円、メカトロニクス製品が同11.7%減少の72億76百万円で、売上高比率はそれぞれ、75.4%、24.6%となりました。

報告セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### (日本)

FA市場全般の調整に加え、当社グループのお客様や代理店各社における在庫調整の影響を受けたことから、産業用ロボット向けをはじめ、半導体製造装置向け、フラットパネルディスプレイ製造装置向け、モーターメーカー向けギアヘッドなどの主要用途向けが減少し、売上高は前年同期比59.4%減少の143億86百万円となりました。また、セグメント利益(経常利益)は、減収の影響や減価償却費の増加などにより、前年同期比87.3%減少の17億97百万円となりました。

#### (北米)

日本や欧州セグメントに比して総じて堅調に推移したものの、医療機器向けなど一部用途向けの需要が減少したことにより、売上高は前年同期比2.0%減少の48億89百万円となりました。また、セグメント利益(経常利益)は、前年同期比12.2%減少の9億16百万円となりました。

#### (欧州)

欧州経済の調整に加え、日本セグメントと同様にお客様における在庫調整の影響を受けたことなどから、主に産業用ロボット向けの需要が減少し、売上高は前年同期比13.2%減少の103億5百万円となりました。また、減収による利益減少の影響を受け、1億33百万円のセグメント損失(経常損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて68億63百万円減少（前連結会計年度末比5.0%減）し、1,311億31百万円となりました。これは、有明工場（長野県安曇野市）に新工場棟を建設したことや、会計基準の変更に伴い海外子会社のリース資産をオンバランスした影響等により、有形固定資産が54億36百万円増加（前連結会計年度末比13.3%増）した一方で、売上高の減少により、受取手形及び売掛金が96億27百万円減少（前連結会計年度末比55.4%減）したことが主な要因です。

### (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて33億58百万円減少（前連結会計年度末比11.3%減）し、262億36百万円となりました。これは、長期借入金が増加（前連結会計年度末比259.8%増）した一方で、その他流動負債が55億21百万円減少（前連結会計年度末比75.8%減）したことに加え、未払法人税等が22億46百万円減少（前連結会計年度末比93.0%減）したことが主な要因です。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末比で35億5百万円減少（前連結会計年度末比3.2%減）し、1,048億95百万円となりました。これは、期末及び中間配当を実施したことにより、利益剰余金が33億28百万円減少（前連結会計年度末比5.5%減）したことに加え、為替換算調整勘定が11億44百万円減少（前連結会計年度末比152.8%減）したことが主な要因です。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の75.5%から76.1%になりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年11月12日に発表しました「2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の数値に変更はありません。今後、変更が必要と判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,805,569	18,071,121
受取手形及び売掛金	17,384,070	7,756,848
有価証券	16,506	15,178
商品及び製品	1,856,807	1,274,078
仕掛品	2,256,097	1,629,074
原材料及び貯蔵品	3,258,082	3,040,783
その他	1,321,036	3,111,816
貸倒引当金	△12,525	△21,221
流動資産合計	44,885,646	34,877,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,170,045	19,288,406
機械装置及び運搬具（純額）	17,300,831	16,083,496
その他（純額）	11,382,060	10,917,867
有形固定資産合計	40,852,936	46,289,770
無形固定資産		
のれん	11,891,973	11,211,657
ソフトウェア	477,910	392,221
顧客関係資産	21,419,711	20,194,331
技術資産	5,720,891	5,393,610
その他	28,398	23,221
無形固定資産合計	39,538,885	37,215,042
投資その他の資産		
投資有価証券	536,878	573,909
関係会社株式	10,708,217	10,791,058
退職給付に係る資産	1,074,157	1,106,654
繰延税金資産	229,820	154,902
その他	174,754	128,302
貸倒引当金	△5,600	△5,600
投資その他の資産合計	12,718,227	12,749,227
固定資産合計	93,110,049	96,254,040
資産合計	137,995,696	131,131,720

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,513,122	1,273,967
短期借入金	25,544	156,227
1年内返済予定の長期借入金	352,705	592,849
リース債務	52,932	282,879
未払法人税等	2,414,836	168,092
賞与引当金	1,604,470	392,155
役員賞与引当金	518,247	80,603
製品補償損失引当金	179,233	57,190
その他	7,283,448	1,761,907
流動負債合計	15,944,541	4,765,872
固定負債		
長期借入金	1,726,001	6,210,347
リース債務	154,801	2,964,955
繰延税金負債	10,228,500	10,737,739
役員退職慰労引当金	462,345	497,757
その他の引当金	104,613	121,715
退職給付に係る負債	829,641	787,077
その他	144,280	151,093
固定負債合計	13,650,183	21,470,687
負債合計	29,594,724	26,236,559
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,100,036	7,100,036
資本剰余金	30,225,361	30,225,361
利益剰余金	60,353,848	57,025,477
自己株式	△38,280	△38,280
株主資本合計	97,640,965	94,312,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,800,311	5,916,815
為替換算調整勘定	748,985	△395,702
退職給付に係る調整累計額	△4,089	12,240
その他の包括利益累計額合計	6,545,208	5,533,353
新株予約権	625,511	625,511
非支配株主持分	3,589,286	4,423,701
純資産合計	108,400,971	104,895,160
負債純資産合計	137,995,696	131,131,720

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	52,274,868	29,581,372
売上原価	28,127,110	20,068,661
売上総利益	24,147,757	9,512,710
販売費及び一般管理費	9,962,060	8,758,600
営業利益	14,185,696	754,109
営業外収益		
受取利息	16,807	27,012
受取配当金	119,793	119,988
持分法による投資利益	12,245	—
為替差益	44,792	52,027
補助金収入	49,609	46,310
その他	207,076	308,218
営業外収益合計	450,325	553,557
営業外費用		
支払利息	13,829	74,591
売上割引	26,440	33,429
有価証券評価損	15,054	166
持分法による投資損失	—	47,758
租税公課	—	62,144
その他	15,299	36,619
営業外費用合計	70,622	254,711
経常利益	14,565,399	1,052,956
特別利益		
固定資産売却益	18,049	10,588
補助金収入	160,410	60,410
特別利益合計	178,459	70,998
特別損失		
固定資産売却損	62,272	511
固定資産除却損	185,945	35,422
固定資産圧縮損	160,410	60,410
特別退職金	—	15,200
特別損失合計	408,628	111,543
税金等調整前四半期純利益	14,335,231	1,012,411
法人税、住民税及び事業税	4,629,323	515,797
法人税等調整額	△195,162	701,533
法人税等合計	4,434,160	1,217,330
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,901,071	△204,918
非支配株主に帰属する四半期純利益	733,164	331,820
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	9,167,906	△536,738



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,901,071	△204,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,078,045	116,503
為替換算調整勘定	△1,010,053	△1,475,505
退職給付に係る調整額	15,173	20,550
その他の包括利益合計	△5,072,926	△1,338,451
四半期包括利益	4,828,144	△1,543,369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,257,034	△1,548,594
非支配株主に係る四半期包括利益	571,110	5,224

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

一部の在外連結子会社においては、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号(リース)を適用しています。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を適用しております。

当該会計基準の適用の結果、当第3四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において、有形固定資産のその他に2,671,111千円、流動負債の部にリース債務183,902千円、固定負債の部にリース債務2,538,308千円が計上されております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益における影響額は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,415,215	4,988,144	11,871,507	52,274,868	—	52,274,868
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,019,154	28,843	225,205	4,273,204	△4,273,204	—
計	39,434,370	5,016,988	12,096,713	56,548,072	△4,273,204	52,274,868
セグメント利益	14,099,864	1,042,940	1,615,578	16,758,383	△2,192,983	14,565,399

- (注) 1. セグメント利益の調整額△2,192,983千円には、セグメント間取引消去△884,857千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,308,126千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,386,258	4,889,564	10,305,549	29,581,372	—	29,581,372
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,300,588	16,050	102,894	2,419,533	△2,419,533	—
計	16,686,847	4,905,614	10,408,444	32,000,905	△2,419,533	29,581,372
セグメント利益又は損失(△)	1,797,071	916,103	△133,623	2,579,551	△1,526,595	1,052,956

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,526,595千円には、セグメント間取引消去△208,827千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,317,767千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. 欧州地域への売上高には、連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるドイツの売上高3,968,334千円が含まれております。
4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		生産高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	12,986,440	△62.9
	メカトロニクス製品	3,796,215	△23.9
北米	減速装置	2,293,420	3.5
	メカトロニクス製品	1,225,620	5.3
欧州	減速装置	5,696,701	△24.5
	メカトロニクス製品	2,084,197	△4.4
合 計		28,082,597	△47.1

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2. 上記金額は販売価格により表示し、消費税等は含まれておりません。  
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。  
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。  
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの生産実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

## ② 受注実績

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		受注高（千円）	前年同期比（%）	受注残高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	8,085,177	△53.3	2,142,686	△85.5
	メカトロニクス製品	1,993,900	△22.3	240,948	△71.4
北米	減速装置	2,012,140	△43.9	1,288,564	△55.8
	メカトロニクス製品	1,454,699	△30.4	649,016	△54.8
欧州	減速装置	5,562,181	△38.7	2,514,087	△40.7
	メカトロニクス製品	2,054,089	△44.5	853,910	△63.0
合 計		21,162,188	△44.8	7,689,215	△71.0

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。  
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。  
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの受注実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。  
 6. 受注残高は、当第3四半期連結累計期間において日本セグメントを中心に発生した前四半期以前の受注分に係る832,572千円の受注取り消し額を差し引いております。

## ③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		販売高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	11,998,904	△62.3
	メカトロニクス製品	2,268,409	△32.5
北米	減速装置	3,044,123	△1.1
	メカトロニクス製品	1,861,491	△4.1
欧州	減速装置	7,262,122	△20.7
	メカトロニクス製品	3,146,321	7.2
合 計		29,581,372	△43.4

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。  
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。  
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの販売実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

## (2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）における海外売上高は、次のとおりであります。

	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	10,305,549	4,889,564	3,837,775	19,032,888
II 連結売上高(千円)	—	—	—	29,581,372
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	34.8	16.5	13.0	64.3

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。  
 2. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 欧州……ドイツ  
 (2) 北米……米国  
 (3) その他の地域……中国、韓国、台湾、オセアニア  
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。